

宮古諸島における陸棲爬虫両生類の分布について

A Preliminary Survey of the Terrestrial Reptiles and Amphibians in
the Miyako Group, Ryukyu Archipelago

饒平名里美（平良市総合博物館）・当山昌直（沖縄県公文書館史料編集室）・安川雄一郎（琉球大学熱帯生物圏研究センター）・陳 賜隆（京都大学理学研究科動物学教室）・高橋 健（沖縄県北部農業改良普及センター）・久貝勝盛（沖縄県立伊良部高校）

Satomi Nohina, Masanao Toyama, Yuichirou Yasukawa, Szu-Lung Chen, Ken Takahashi,
and Katsumori Kugai

はじめに

宮古諸島は琉球列島南部に位置し、宮古島・大神島・池間島・伊良部島・下地島・来間島・多良間島・水納島の8つの有人島からなる（図1. 参照）。宮古諸島の爬虫両生類のうち、ヘビ類については高良（1962）が、トカゲ類は Van Denburgh（1912）が、カエル類については Okada（1927, 1931, 1966）が報告している。爬虫両生類相全体に関するまとまった報告としては、当山（1976a, 1981）をあげることができる。

これまでの報告は、各種の分布を論じる際、島を最小単位として扱っているものが多く、各島内における分布についての公表された知見は少ない。そこでわれわれは、宮古諸島の陸棲爬虫両生類についてより詳しい分布域を明らかにすることを目的として分布調査をおこない、種ごとに確認された地点を地図上に記録した。調査は現在も継続中であるが、今回はこれまで得られた結果を報告する。

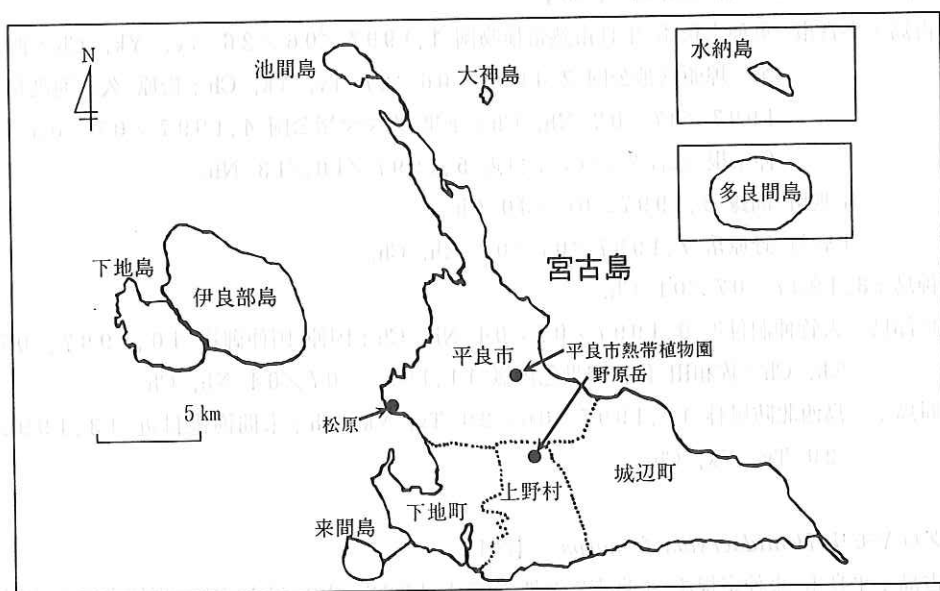


図1. 宮古諸島の地図

方 法

1996年6月21日～1997年11月14日の間に各島で野外調査を行い、目撃した爬虫両生類を、生体、死体に関わらず記録した。鳴声を確認した種も記録に含めた。さらに若干ではあるが聞き込みによる間接的な確認も、その旨記したうえで、記録に加えた。なお、種と確認場所がともに重複した場合は、最初の日付の資料のみを採用した。

結 果

確認された種について、和名、学名、島名、市町村名、字名、確認地点、地図上の番号、日付、確認者を順に記した。なお、字名及び確認地点については必要に応じて記した。確認者は記号で示した（饒平名=Nh, 当山=Ty, 安川=Yk, 陳=Ch, 高橋=Tk, 久貝=Kg）。和名と学名は、おおむね千石ら（1996）に従った。図2～図22には、得られた分布のデータを地図上に示した。

爬虫綱 REPTILIA

カメ目 TESTUDINES

バタゲールガメ科 Bataguridae

ヤエヤマイシガメ *Mauremys mutica kami* 【図2】

宮古島：平良市 狩俣 池間大橋付近 1,1997/06/26 Ty, Yk, Ch；東仲宗根添 平良市熱帯植物園 2,1997/06/29 Ty, Yk, Ch；東仲宗根 3,1997/08/05 Nh；島尻 4,1997/10/06 Nh；西仲宗根 5,1997/10/13 Nh.

有鱗目 SQUAMATA

トカゲ亜目 LACERTILIA

ヤモリ科 Gekkonidae

ミナミヤモリ *Gekko hokouensis* 【図3】

宮古島：平良市 東仲宗根添 平良市熱帯植物園 1,1997/06/26 Ty, Yk, Ch；西仲宗根 第一埠頭緑地公園 2,1997/06/27 Ty, Yk, Ch；松原 久松漁港付近 3,1997/07/02 Nh, Ch；下里 カママ嶺公園 4,1997/07/05 Ch；東仲宗根 総合グラウンド付近 5,1997/10/13 Nh.

下地町 洲鎌 6,1997/06/30 Ch.

上野村 野原岳 7,1997/07/02 Nh, Ch.

大神島：8,1997/07/01 Ch.

伊良部島：大竹仲洞付近 9,1997/07/04 Nh, Ch；国仲 国仲御嶽 10,1997/07/04 Nh, Ch；佐和田 佐和田世乞御嶽 11,1997/07/04 Nh, Ch.

来間島： 島西北防風林 12,1997/06/29 Ty, Yk, Ch；来間漁港付近 13,1997/06/29 Ty, Yk, Ch.

ホオグロヤモリ *Hemidactylus frenatus* 【図4】

宮古島：平良市 東仲宗根添 平良市総合博物館 1,1996/10/11 Nh；東仲宗根添 平良市熱

帯植物園 2, 1997/06/26 Ty, Yk, Ch ; 西仲宗根 第一埠頭緑地公園 3, 1997/06/27 Nh, Yk, Ch ; 下里 集落内 4, 1997/07/02 Ch ; 松原 久松漁港付近 5, 1997/07/02 Nh, Ch ; 下里 カママ嶺公園 6, 1997/07/05 Ch ; 西仲宗根 知利真良豊見親の墓(史跡) 7, 1997/08/16 Nh ; 東仲宗根 総合グラウンド付近 8, 1997/10/13 Nh.

下地町 与那覇湾付近 9, 1997/06/27 Nh, Yk, Ch.

上野村 野原岳 10, 1997/07/02 Nh, Ch.

大神島 : 11, 1997/07/01 Ch.

池間島 : 池間 池間小・中学校付近 12, 1997/07/31 Nh.

伊良部島 : 大竹仲洞付近 13, 1997/07/04 Nh, Ch ; 伊良部 県営伊良部団地付近 14, 1997/07/04 Nh, Ch ; 伊良部 乗瀬御嶽 15, 1997/10/04 Nh ; 伊良部高校 から白鳥岬への道路沿の側溝 16, 1997/10/04 Nh.

来間島 : 島西北防風林 17, 1997/06/29 Ty, Yk, Ch ; 来間漁港付近 18, 1997/06/29 Ty, Yk, Ch.

多良間島 : 塩川 集落内 19, 1997/10/10 Nh ; 塩川 多良間空港 20, 1997/10/11 Kg, Nh.

キノボリヤモリ *Hemiphyllodactylus typus typus* 【図5】

宮古島 : 平良市 東仲宗根添 平良市熱帯植物園 1, 1997/06/27 Nh, Ty, Yk, Ch.

オンナダケヤモリ *Gehyra mutilata* 【図6】

宮古島 : 平良市 東仲宗根添 平良市熱帯植物園 1, 1997/06/26 Ty, Yk, Ch ; 下里 集落内 2, 1997/07/02 Ch ; 松原 久松漁港付近 3, 1997/07/02 Ch.

オガサワラヤモリ *Lepidodactylus lugubris* 【図7】

宮古島 : 平良市 東仲宗根添 平良市熱帯植物園 1, 1997/06/26 Ty, Yk, Ch ; 島尻 2, 1997/06/28 Nh, Ty, Yk, Ch.

下地町 与那覇 3, 1997/08/07 Tk.

大神島 : 4, 1997/07/01 Ch.

来間島 : 島西北防風林 5, 1997/06/29 Ty, Yk, Ch ; 来間漁港付近 6, 1997/06/30 Ch.

キノボリトカゲ科 Agamidae

サキシマキノボリトカゲ *Japalura polygonata ishigakiensis* 【図8】

宮古島 : 平良市 東仲宗根添 飛鳥御嶽 1, 1997/02/22 Nh ; 東仲宗根添 平良市総合博物館 2, 1997/03/18 Nh ; 東仲宗根添 平良市熱帯植物園 3, 1997/06/27 Nh, Ty, Yk, Ch ; 松原 久松漁港付近 4, 1997/07/02 Nh, Ch ; 下里カ

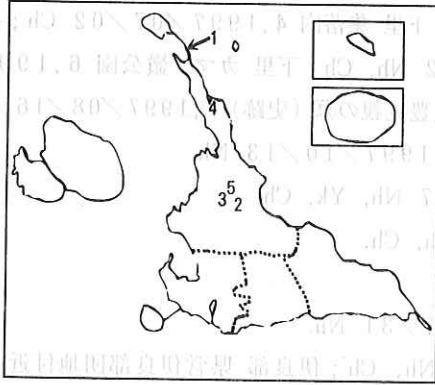


図2. ヤエヤマシガメの確認地点

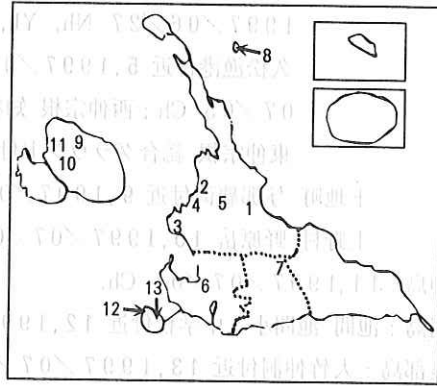


図3. ミナミヤモリの確認地点

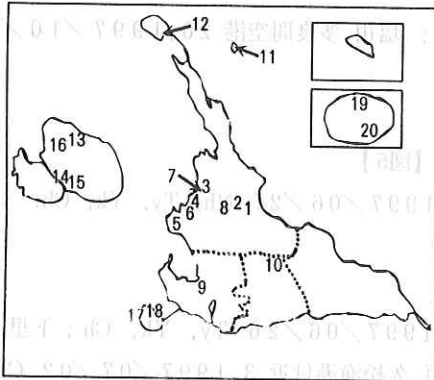


図4. ホオグロヤモリの確認地点

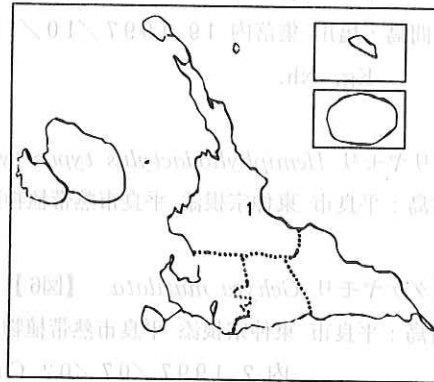


図5. キノボリヤモリの確認地点

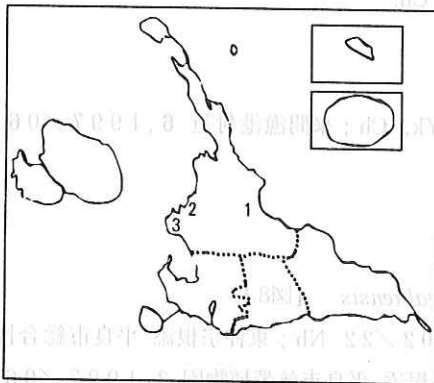


図6. オンナダケヤモリの確認地点

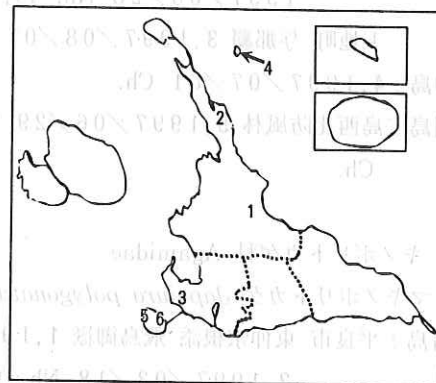


図7. オガサワラヤモリの確認地点

- ママ嶺公園 5, 1997/07/05 Ch; 西仲宗根 添道公民館グラウンド付近 6, 1997/08/01 Nh. 上野村 野原 野原岳 9, 1997/07/02 Nh, Ch; 下地町 上地 池田疋付近 10, 1997/08/16 Nh; 伊良部島: 伊良部 宮古製糖伊良部工場付近 11, 1997/06/07 Nh; 大竹仲洞付近 12, 1997/07/04 Nh, Ch. 来間島: 島西北防風林 13, 1997/06/29 Ty, Yk, Ch; 来間漁港付近 14, 1997/06/29 Ty, Yk, Ch.

トカゲ科 Scincidae

キシノウエトカゲ *Eumeces kishinouyei* 【図9】

- 宮古島: 平良市 東仲宗根添 平良市熱帯植物園 1, 1997/07/02 Ch. 城辺町 新城海岸 2, 1997/06/28 Nh, Ty, Yk, Ch; 県道83号(保良・西里線) 路上 新城海岸付近 3, 1997/08/01 Nh. 下地町 皆愛 来間大橋入り口付近 4, 1997/07/09 Nh. 大神島: 大神漁港付近 5, 1997/07/01 Ch. 池間島: 池間灯台付近 6, 1997/06/28 Nh, Ty, Yk, Ch. 来間島: 来間漁港付近 7, 1997/06/29 Ty, Yk, Ch; 島西北防風林 8, 1997/06/30 Ch.

ヒミヤコトカゲ *Emoia atrocostata atrocostata* 【図10】

- 宮古島: 平良市 島尻 1, 1997/07/01 Ch. 城辺町 博愛漁港 2, 1997/04/19 (外間 康洋氏からの目撃情報による) 大神島: 大神漁港付近 3, 1997/07/01 Ch. 池間島: 池間大橋付近 4, 1997/06/28 Nh, Ty, Yk, Ch.

サキシマスベトカゲ *Scincella boettgeri* 【図11】

- 宮古島: 平良市 狩俣遠見跡 1, 1997/02/09 Nh; 東仲宗根添 平良市総合博物館 2, 1997/02/26 Nh; 東仲宗根添 平良市熱帯植物園 3, 1997/06/27 Nh, Ty, Yk, Ch; 島尻 4, 1997/07/01 Ch; 松原 久松五勇士顕彰碑付近 5, 1997/07/02 Nh, Ch; 下里 カママ嶺公園 6, 1997/07/05 Ch; 西里 漲水御嶽 7, 1997/08/16 Nh; 西仲宗根 大和井 8, 1997/08/16 Nh; 荷川取 砂山ビーチ駐車場付近 9, 1997/08/24 Nh. 下地町 川満 喜佐真御嶽 10, 1997/02/24 Nh. 城辺町 新城 県道199号(新里・保良線) 付近(通称 オッパイ山) 11, 1997/08

砂川 上比屋山遺跡 12, 1997/08/16 Nh.

上野村 野原岳 13, 1997/07/02 Nh, Ch.

大神島: 14, 1997/07/01 Ch.

伊良部島: 牧山展望台 15, 1996/08/12 Tk; 大竹仲洞付近 16, 1997/07/04 Nh, Ch; 国仲 国仲御嶽 17, 1997/07/04 Nh, Ch; 長浜 長浜御嶽 18, 1997/07/04 Nh, Ch; 佐和田 佐和田世乞御嶽 19, 1997/07/04 Nh, Ch; 伊良部 瀬御嶽 20, 1997/10/04 Nh; 仲地 仲地公民館付近 21, 1997/10/04 Nh. 下地島: 通り池付近 22, 1997/10/04 Nh.

来間島: 島西北防風林 23, 1997/06/29 Ty, Yk, Ch; 来間漁港付近 24, 1997/06/29 Ty, Yk, Ch.

多良間島: 仲筋 八重山遠見台公園 25, 1997/10/10 Nh, Kg.

水納島: 鳥塚付近 26, 1997/10/11 Nh, Kg.

カナヘビ科 Lacertidae

ミヤコカナヘビ *Takydromus toyamai* 【図12】

宮古島: 平良市 松原 久松漁港付近 1, 1997/07/02 Nh, Ch; 東仲宗根添 平良市熱帯植物園 2, 1997/08/07 Tk.

池間島: 3, 1997/08/07 Tk.

ヘビ亜目 SERPENTES

メクラヘビ科 Typhlopidae

ブラーミニメクラヘビ *Ramphotyphlops braminus* 【図13】

宮古島: 平良市 東仲宗根添 平良市熱帯植物園 1, 1997/06/28 Nh, Yk, Ch; 狩俣 野田 2, 1997/07/01 Ch.

城辺町 西里添 いこいの森公園 3, 1997/11/14 Nh.

ナミヘビ科 Colubridae

ヒメヘビ *Calamaria pfefferi* 【図14】

宮古島: 平良市 東仲宗根添 平良市熱帯植物園 1, 1997/08/28 Nh.

上野村 野原岳 2, 1997/07/02 Nh, Ch.

城辺町 西里添 いこいの森公園 3, 1997/11/14 Nh.

伊良部島: 大竹仲洞付近 4, 1997/07/04 Nh, Ch.

サキシマスジオ *Elaphe taeniura schmackeri* 【図15】

宮古島: 平良市 西里 袖山浄水場付近 1, 1996/06/21 Nh; 東仲宗根添 平良市総合博物館

付近 2, 1996/12/03 Nh; 東仲宗根添 平良市熱帯植物園 3, 1997/06

/28 Nh, Yk, Ch; 狩俣 県立宮古養護学校付近 4, 1997/07/01 Ch.

城辺町 西里添 県道198号(根間地・与那節線)路上 5, 1997/10/02 Nh.

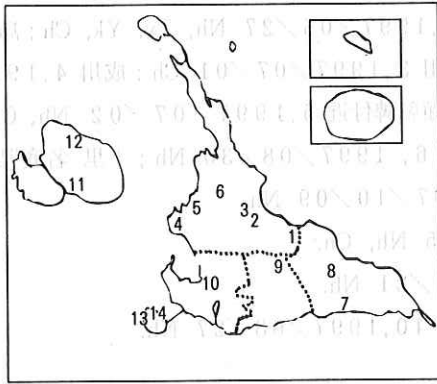


図8. サキシマキノボリトカゲの確認地点

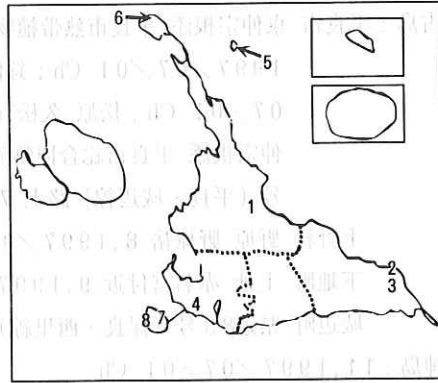


図9. キシノウエトカゲの確認地点

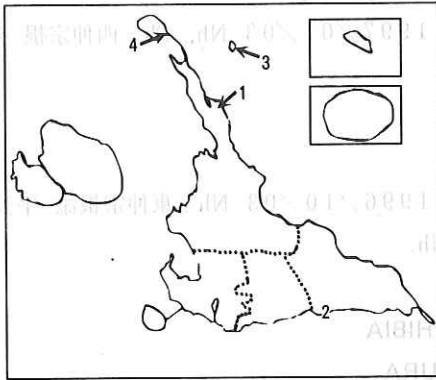


図10. ミヤコトカゲの確認地点

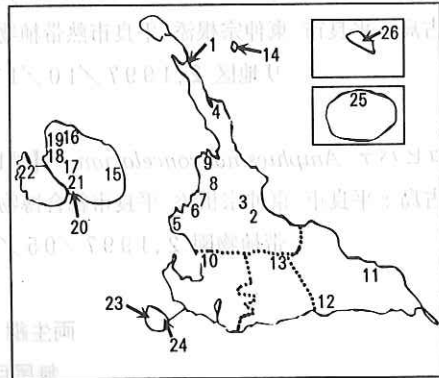


図11. サキシマスベトカゲの確認地点

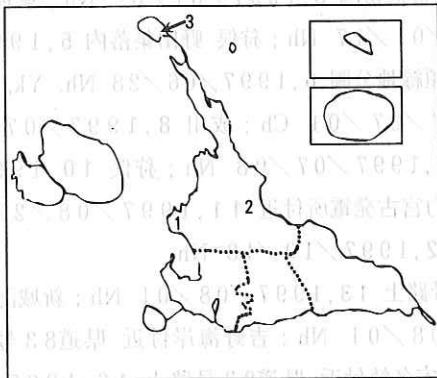


図12. ミヤコカナヘビの確認地点

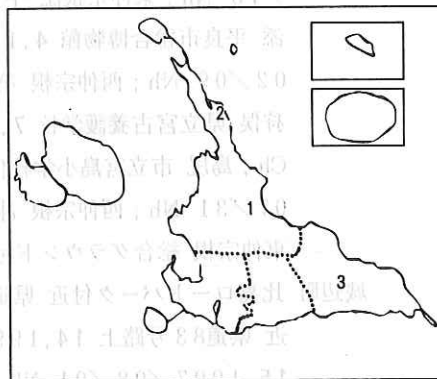


図13. ブラーミニメクラヘビの確認地点

サキシママダラ *Dinodon rufozonatus walli* 【図16】

宮古島：平良市 東仲宗根添 平良市熱帯植物園 1, 1997/06/27 Nh, Ty, Yk, Ch; 島尻 2, 1997/07/01 Ch; 狩俣 野田 3, 1997/07/01 Ch; 成川 4, 1997/07/01 Ch; 松原 久松五勇士顕彰碑付近 5, 1997/07/02 Nh, Ch; 東仲宗根添 平良市総合博物館付近 6, 1997/08/30 Nh; 下里 名底県道78号 (平良・城辺線) 路上 7, 1997/10/09 Nh.

上野村 野原 野原岳 8, 1997/07/05 Nh, Ch.

下地町 上地 赤名宮付近 9, 1997/07/21 Nh.

城辺町 県道83号 (保良・西里線) 路上 10, 1997/08/27 Nh.

大神島：11, 1997/07/01 Ch.

池間島：県道230号 (池間・大浦線) 12, 1997/05/06 Nh; 県道230号 (池間・大浦線) 池間灯台付近 13, 1997/07/31 Nh.

サキシマバイカダ *Lycodon ruhstrati multifasciatus* 【図17】

宮古島：平良市 東仲宗根添 平良市熱帯植物園 1, 1997/07/03 Nh, Ch; 西仲宗根 タナバリ地区 2, 1997/10/17 Nh.

ミヤコヒバァ *Amphiesma conelarum* 【図18】

宮古島：平良市 東仲宗根添 平良市総合博物館 1, 1996/10/03 Nh; 東仲宗根添 平良市熱帯植物園 2, 1997/05/02 Nh.

両生綱 AMPHIBIA

無尾目 ANURA

ヒキガエル科 Bufonidae

ミヤコヒキガエル *Bufo gargarizans miyakonis* 【図19】

宮古島：平良市 松原のため池 1, 1996/10/13 Nh; 狩俣 市立狩俣中学校 2, 1996/12/13 Nh; 東仲宗根添 平良市熱帯植物園 3, 1997/01/02 Nh; 東仲宗根添 平良市総合博物館 4, 1997/01/17 Nh; 狩俣 野田集落内 5, 1997/02/09 Nh; 西仲宗根 第一埠頭緑地公園 6, 1997/06/28 Nh, Yk, Ch; 狩俣 県立宮古養護学校 7, 1997/07/01 Ch; 成川 8, 1997/07/01 Ch; 島尻 市立宮島小学校付近 9, 1997/07/08 Nh; 狩俣 10, 1997/07/31 Nh; 西仲宗根 沖縄電力宮古発電所付近 11, 1997/08/29 Nh 東仲宗根 総合グラウンド付近 12, 1997/10/13 Nh.

城辺町 比嘉ロードパーク付近 県道83号路上 13, 1997/08/01 Nh; 新城海岸付近 県道83号路上 14, 1997/08/01 Nh; 吉野海岸付近 県道83号路上 15, 1997/08/01 Nh; 東平安名崎付近 県道83号路上 16, 1997/08/01 Nh; 県道101号路上 17, 1997/08/01 Nh; 福里 18, 1997/10

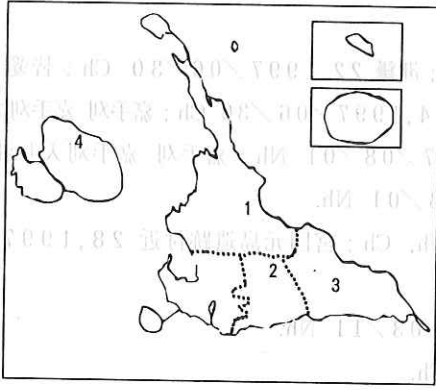


図14. ヒメヘビの確認地点

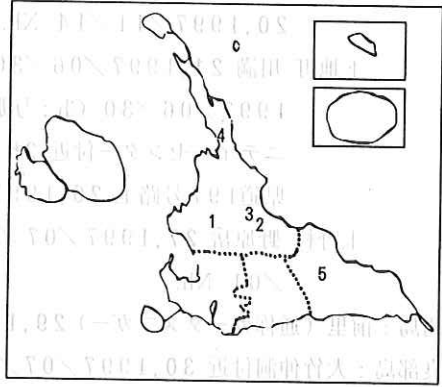


図15. サキシマスジオの確認地点

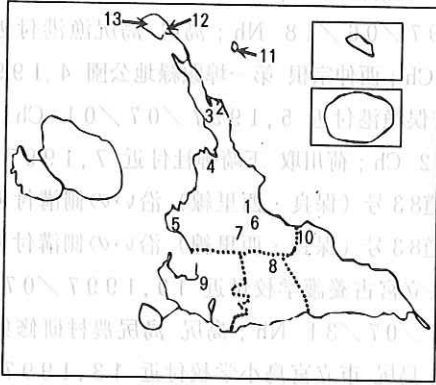


図16. サキシマダラの確認地点

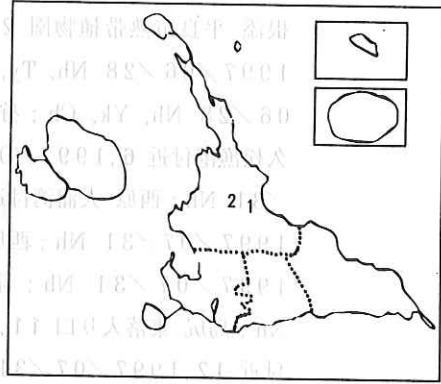


図17. サキシマバイカダの確認地点

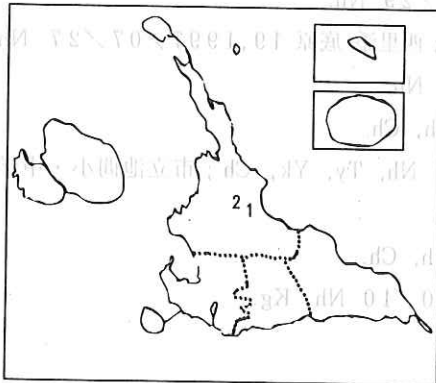


図18. ミヤコヒバの確認地点

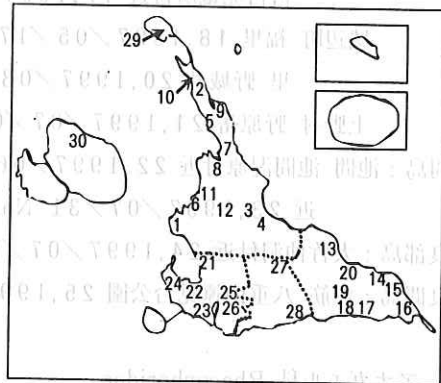


図19. ミヤコヒキガエルの確認地点

／18 Nh; 西里添 いこいの森公園 19, 1997/10/20 Nh; 福里 野城井
20, 1997/11/14 Nh.

下地町 川満 21, 1997/06/30 Ch; 洲鎌 22, 1997/06/30 Ch; 皆愛 23,
1997/06/30 Ch; 与那覇 24, 1997/06/30 Ch; 嘉手刈 嘉手刈コミュニ
ニティーセンター付近 25, 1997/08/01 Nh; 嘉手刈 嘉手刈入り江付近
県道197号路上 26, 1997/08/01 Nh.

上野村 野原岳 27, 1997/07/05 Nh, Ch; 宮国元島遺跡付近 28, 1997/08
/01 Nh.

池間島: 前里 (通称カーヌフガー) 29, 1997/03/11 Nh.

伊良部島: 大竹仲洞付近 30, 1997/07/04 Ch.

アカガエル科 Ranidae

ヌマガエル *Rana limnocharis limnocharis* 【図20】

宮古島: 平良市 県道83号 (保良・西里線) 沿いの側溝付近 1, 1997/06/10 Nh; 東仲宗
根浜 平良市熱帯植物園 2, 1997/06/18 Nh; 島尻 島尻漁港付近 3,
1997/06/28 Nh, Ty, Yk, Ch; 西仲宗根 第一埠頭緑地公園 4, 1997/
06/28 Nh, Yk, Ch; 狩俣 狩俣漁港付近 5, 1997/07/01 Ch; 松原
久松漁港付近 6, 1997/07/02 Ch; 荷川取 下崎神社付近 7, 1997/07
/31 Nh; 西原 大浦湾付近 県道83号 (保良・西里線) 沿いの側溝付近 8,
1997/07/31 Nh; 西原 県道83号 (保良・西里線) 沿いの側溝付近 9,
1997/07/31 Nh; 狩俣 県立宮古養護学校付近 10, 1997/07/31
Nh; 島尻 集落入り口 11, 1997/07/31 Nh; 島尻 島尻農村研修集会所
付近 12, 1997/07/31 Nh; 島尻 市立宮島小学校付近 13, 1997/07
/31 Nh; 島尻 国立療養所宮古南静園付近 14, 1997/08/01 Nh; 東仲
宗根浜 高野集落付近 県道83号 (保良・西里線) 路上 15, 1997/08/01
Nh; 下里 地盛農村公園付近 16, 1977/08/04 Nh; 西仲宗根 沖縄電力
宮古発電所付近 17, 1997/08/29 Nh.

城辺町 福里 18, 1997/05/17 Nh; 西里添 底原 19, 1997/07/27 Nh; 福
里 野城井 20, 1997/08/01 Nh.

上野村 野原岳 21, 1997/07/02 Nh, Ch.

池間島: 池間 池間湿原付近 22, 1997/06/28 Nh, Ty, Yk, Ch; 市立池間小・中学校付
近 23, 1997/07/31 Nh.

伊良部島: 大竹仲洞付近 24, 1997/07/04 Nh, Ch.

多良間島: 仲筋 八重山遠見台公園 25, 1997/10/10 Nh, Kg.

アオガエル科 Rhacophoridae

シロアゴガエル *Polypedates leucomystax* 【図21】

宮古島：城辺町 西里添 西中集落農事集会所 1,1997/10/02 (宮国 匡氏からの目撃情報による)。

ジムグリガエル科 Microhylidae

ヒメアマガエル *Microhyla ornata* 【図22】

宮古島：平良市 東仲宗根添 平良市熱帯植物園 1,1997/06/26 Ty, Yk, Ch ; 西仲宗根 第一埠頭緑地公園 2,1997/06/28 Nh, Yk, Ch ; 大浦 県道83号(保良・西里線)沿いの側溝付近 3,1997/08/01 Nh ; 西原 福山農村公園付近 県道83号(保良・西里線)沿いの側溝付近 4,1997/08/01 Nh.

上野村 野原岳 5,1997/07/02 Nh, Ch.

城辺町 福里 6,1997/10/09 Nh.

伊良部島：大竹仲洞付近 7,1997/07/04 Nh, Ch ; 国仲 国仲御嶽付近 8,1997/09/23 Nh ; 伊良部高校から白鳥岬への道路沿の側溝 9,1997/10/04 Nh.

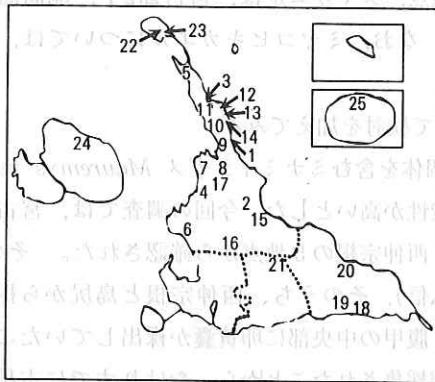


図20. ヌマガエルの確認地点

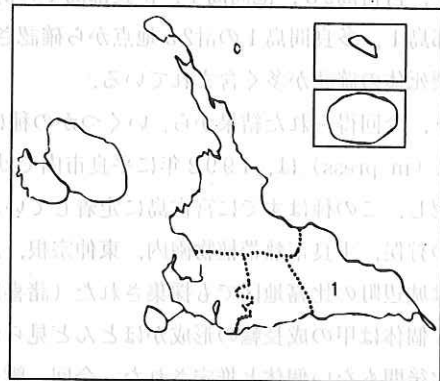


図21. シロコガエルの確認地点

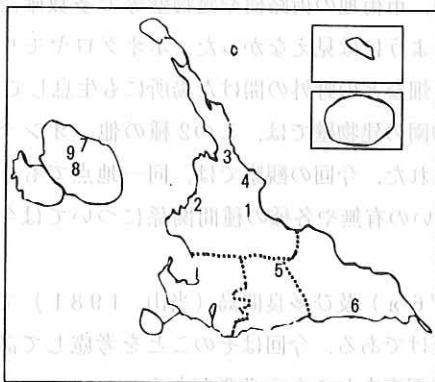


図22. ヒメアマガエルの確認地点

考 察

今回の調査によって確認された種を島ごとに表1に示す。確認された種は、当山(1976 a)以降に報告された文献によると、タシロヤモリとサキシマアオヘビを除く全種である。すなわち爬虫類7科17属17種(カメ類1種、トカゲ類10種、ヘビ類6種)、両生類4科4属4種(カエル類4種)の計11科21属21種の分布が確認された。

最も多くの種が確認された地点は平良市熱帯植物園で、爬虫類7科16属16種、両生類3科3属3種であった。他に確認された種数の多かった地点は、上野村野原岳と平良市松原地区で、それぞれ爬虫類4科6属6種と両生類3科3属3種、爬虫類3科7属7種と両生類2科2属2種が確認された。

確認地点の多かった種としては、爬虫類ではサキシマスベトカゲが、宮古島13、大神島1、伊良部島7、下地島1、来間島2、多良間島1、水納島1の計26地点より確認された。次に、ホオグロヤモリは、宮古島10、大神島1、池間島1、伊良部島4、来間島2、多良間島2の計20地点、サキシマキノボリトカゲが、宮古島10、伊良部島2、来間島2の計14地点、ミナミヤモリが、宮古島7、大神島1、伊良部島3、来間島2の計13地点で確認された。両生類では、ミヤコヒキガエルが、宮古島28、池間島1、伊良部島1の計30地点、ヌマガエルは、宮古島21、池間島2、伊良部島1、多良間島1の計25地点から確認された。なお、ミヤコヒキガエルについては、路上での轢死体の確認が多く含まれている。

以下、今回得られた結果から、いくつかの種について検討を加えてみる。

Ota (in press) は、1992年に平良市内で幼体2個体を含むミナミイシガメ *Mauremys mutica* を確認し、この種はすでに宮古島に定着している可能性が高いとした。今回の調査では、宮古島平良市の狩俣、平良市熱帯植物園内、東仲宗根、島尻、西仲宗根の5地点から確認された。その後、本種は城辺町の比嘉地区でも採集された(諸喜田、私信)。そのうち、西仲宗根と島尻から採集された3個体は甲の成長輪の形成がほとんど見られず、腹甲の中央部に卵黄嚢が裸出していたことから孵化後間もない個体と推定された。今回、孵化仔が採集されたことから、やはりすでに本種は定着していると考えられる。宮古島産のミナミイシガメの起源については、今回の標本を用いた解析が進められており、亜種の帰属としてはヤエヤマイシガメ *Mauremys mutica kami* であるという結果が得られている(安川、未発表)。

ミナミヤモリとホオグロヤモリは、ともに御嶽林内、市街地の街路樹や建物壁等で多数確認されたが、明りに対する位置関係など完全に混在しているようには見えなかった。ホオグロヤモリは、集落内の家屋に多いが、沖縄島等と違ってサトウキビ畑などの野外の開けた場所にも生息しており、その生息場所は広範囲に渡っていた。平良市熱帯植物園の建物壁では、この2種の他、オンナダケヤモリ、キノボリヤモリ、オガサワラヤモリも確認された。今回の観察では、同一地点でも5種のヤモリ類が確認されたが、これらの種の好み場所の違いの有無や各種の種間関係については今後明らかにしていきたい。

タシロヤモリは、宮古島の平良市松原(当山、1976 a)及び多良間島(当山、1981)で採集されており、宮古諸島からの戦後の記録はこの2例だけである。今回はそのことを考慮して調査したが、確認することは出来なかった。今後も注意して調査をおこなう必要がある。

表1. 今回の調査で確認された種. ○: 確認, —: 未確認

	宮古島	大神島	池間島	伊良部島	下地島	来間島	多良間島	水納島
爬虫類								
ヤエヤママイシガメ <i>Mauremys mutica kami</i>	○	—	—	—	—	—	—	—
ミナミヤモリ <i>Gekko hokouensis</i>	○	○	—	○	—	○	—	—
ホオグロヤモリ <i>Hemidactylus frenatus</i>	○	○	○	○	—	○	○	—
タシロヤモリ <i>Hemidactylus bowringii</i>	—	—	—	—	—	—	—	—
キノボリヤモリ <i>Hemiphyllodactylus typus typus</i>	○	—	—	—	—	—	—	—
オンナダケヤモリ <i>Gehyra mutilata</i>	○	—	—	—	—	—	—	—
オガサワラヤモリ <i>Lepidodactylus lugubris</i>	○	○	—	—	—	○	—	—
サキシマキノボリトカゲ <i>Japalura polygonata ishigakiensis</i>	○	—	—	○	—	○	—	—
キシノウエトカゲ <i>Eumeces kishinouyei</i>	○	○	○	—	—	○	—	—
ミヤコトカゲ <i>Emoia atrocostata atrocostata</i>	○	○	○	—	—	—	—	—
サキシマスベトカゲ <i>Scincella boettgeri</i>	○	○	—	○	○	○	○	○
ミヤコカナヘビ <i>Takydromus toyamai</i>	○	—	○	—	—	—	—	—
ブラーミニメクラヘビ <i>Ramphotyphlops braminus</i>	○	—	—	—	—	—	—	—
ヒメヘビ <i>Calamaria pfefferi</i>	○	—	—	○	—	—	—	—
サキシマアオヘビ <i>Cyclophiops herminae</i>	—	—	—	—	—	—	—	—
サキシマスジオ <i>Elaphe taeniura schmackeri</i>	○	—	—	—	—	—	—	—
サキシママダラ <i>Dinodon rufozonatus walli</i>	○	○	○	—	—	—	—	—
サキシマバイカダ <i>Lycodon ruhstrati multifasciatus</i>	○	—	—	—	—	—	—	—
ミヤコヒバァ <i>Amphiesma concelarum</i>	○	—	—	—	—	—	—	—
両生類								
ミヤコヒキガエル <i>Bufo gargarizans miyakonis</i>	○	—	○	○	—	—	—	—
ヌマガエル <i>Rana limnocharis limnocharis</i>	○	—	○	○	—	—	○	—
シロアゴガエル <i>Polypedates leucomystax</i>	○	—	—	—	—	—	—	—
ヒメアマガエル <i>Microhyla ornata</i>	○	—	—	○	—	—	—	—

キノボリヤモリは、Takeda and Ota (1992) により宮古島平良市の平良市熱帯植物園で、また菊川・戸田 (1998) により多良間島で確認されている。今回の調査では、平良市熱帯植物園のみで確認され、園内の建物壁、樹上や樹皮下で見つかった。移入種であるキノボリヤモリは、雌雄両方からなる両性生殖集団と、雌のみからなる単為生殖集団が存在すると考えられている (太田, 1995)。宮古・八重山諸島でこれまで採集された個体はすべて雌で、したがって南部琉球のものは単為生殖集団である可能性が高いといわれている (Takeda and Ota, 1992)。今回の調査により宮古島で採集された個体も雌であった。今後、単為生殖により琉球列島内で分布をさらに拡大していく可能性がある (Takeda and Ota, 1992)。

オガサワラヤモリは今回、大神島より初めて記録された。本種は、雌のみからなり、単為生殖で繁殖するため、1個体が持ち込まただけでも繁殖集団として定着する可能性があり (Ota, in press), 1971年以降、琉球列島の多くの島で相次いで記録されている (太田, 1995)。宮古諸島でのキノボリヤモリとオガサワラヤモリの在来の生物への影響については、今後調査する必要がある。

ミヤコトカゲはかつて、宮古島平良港付近の岩礁性海岸に多数生息していた (当山, 1976b)。しかし今回の調査では、この地点で本種を確認することは出来なかった。港湾整備事業の結果、岩礁性海岸が消失しており、個体群そのものが絶滅した可能性が考えられる。平良港以外に確認できた生息場所は、いずれも波しぶきがかかる岩礁性海岸であり、2~6個体が同時に出現していた。宮古諸島は本種の分布の北限になっており、今後、このような貴重な個体群をどのように保護していくかが課題となろう。なお、今回の調査期間中ではないが、池間島北東部に位置する無人島のフデ岩 (最大長140 m, 最大幅70 m, 標高9 m) でも本種が確認されている (久貝, 未発表)。

当山 (1976a) は宮古島産のカナヘビ属個体群をアオカナヘビ *Takydromus smaragdinus* と同定しながらも、沖縄島の同種個体群と色彩等が異なることを指摘した。その後、この宮古諸島の個体群は Takeda and Ota (1996) によって、宮古諸島の固有種ミヤコカナヘビ *Takydromus toyamai* として記載された。現在まで本種の採集報告例はきわめて少ないことから、今回も注意して調査したが、宮古島平良市松原地区、平良市熱帯植物園、池間島の3地点でのみ確認された。このことから本種は、確認されにくい種であるか、あるいは個体数の少ない種であることが考えられる。分布地の一つである平良市松原地区は近年、漁港の整備に伴い草木が度々伐採されており、ミヤコカナヘビへの影響が心配される。

ヒメヘビは宮古諸島の固有種で、これまで宮古島の平良市熱帯植物園と伊良部島の大竹仲洞のみで分布が確認されていた。今回、新分布地として、宮古島上野村野原岳と宮古島城辺町いこいの森公園が追加された。平良市熱帯植物園付近の農道では轢死体が複数確認され、城辺町いこいの森公園では側溝で死体が確認された。上野村野原岳では、御嶽林床の岩石下から雌雄各一個体が確認され、伊良部島大竹仲洞付近では、土壌が堆積した側溝で生体が確認された。このように、ヒメヘビの確認された個体数、地点数は少ないが、これは本種の希少性を反映するというよりも、本種が小型で隠棲的な性質のため確認が難しいことに起因するとも考えられる。ヒメヘビの分布についてはさらに慎重な調査が必要であろう。

高良 (1962) は宮古諸島のほとんどの島にサキシマアオヘビが生息するとしたが、これまでに

確かな採集記録はなく、宮古諸島産とされる標本も存在しない。今回の調査でもその生息を確認することはできなかった。高良（1962）は琉球列島産の陸生ヘビ類の分布を表にまとめるにあたり、聞き込みによる分布データも採用しており、宮古諸島のサキシマアオヘビの記録は標本によるものでなく、誤った聞き込み情報に基づく疑いがある。宮古諸島では、別属種サキシマスジオを「オーナズバウ」と呼ぶ。これは「青いヘビ」の意であることから、聞き込み調査時にこの種とサキシマアオヘビが混同された可能性も考えられる（当山ら、1980）。このようなことから宮古諸島からの本種の記録は誤認の可能性が高い。

サキシマバイカダは、高良（1978）により宮古島の分布が明らかにされた。その後、高橋（1996）によって伊良部島からも確認された。今回確認されたのは、宮古島の平良市熱帯植物園と西仲宗根のタナバリ地区だけであったが、今後の調査の拡大によって分布域が広がる可能性も考えられる。

宮古諸島の広義のガラスヒバアの個体群は、長い間固有亜種ミヤコヒバア *Amphiesma pryleri concelarum* とされてきたが、Ota and Iwanaga（1997）によって、独立種 *Amphiesma concelarum* とされた。今回は、平良市熱帯植物園の調整池付近で生息が確認され、また付近の農道では轢死体も複数確認された。本種は、湿地及びその周辺でよく見られるようである。

ミヤコヒキガエルは、これまで宮古島と伊良部島のみから記録されていた（当山、1981）が、今回、伊良部島と池間島からも確認された。池間島については、諸喜田（1996）も本種を報告しており、近年持ち込まれた可能性が高い。今回、池間島では、幼生も見られたことから既に定着しているものと考えられる。1992年に池間大橋が開通し、宮古島と池間島の行き来が容易になったことが、本種の池間島への侵入と関係があるのかもしれない。

戦後東南アジアから人為的に移入されたと考えられているシロアゴガエルは、国内では沖縄諸島に分布が限られていたが、1997年10月2日に宮古島の城辺町で1個体が確認された（饒平名ら、1997）。本調査終了後の1998年2月にも同じ城辺町砂川地区で1個体が採集され（Iwanaga, in press）、同年3月にも城辺町西里添で1個体が採集された。調査期間中にこの種のものらしい卵塊が目撃されたことから考えて、すでに繁殖集団が形成されている可能性もあり、今後の詳しい調査によって島内での生息範囲を明らかにする必要がある。固有亜種ミヤコヒキガエルとは産卵時期は重ならないが、ヌマガエルやヒメアマガエルとは産卵時期、生息環境が重なることから、これら在来種への影響が心配される。

謝 辞

現地調査を進めるにあたり、本村晴美氏（平良市役所都市計画課）には特別にお世話になった。また、本報告を作製するにあたり、中田祐二（沖縄県宮古支庁農林水産振興課）、外間康洋（琉球大学大学院）、垣花芳枝（県立あけぼの学園）の諸氏には現地調査にご協力頂いた。諸喜田茂充（琉球大学）、砂辺和正（平良市教育委員会）、岩永節子（沖縄県農業試験場）、照屋香（豊見城南高校）、宮国匡（城辺町）、砂川里志（平良市）、猪狩千恵、徳田龍弘、庄子泰之、釣谷洋輔（日本大学）の諸氏には貴重な情報を頂いた。千木良芳範（沖縄県教育庁文化課）、川上勲（県立宮古高校）の両氏には、現地調査に際し、ご協力を頂いた。そして本稿のとりまとめにあたり、太田英利氏（琉球大学熱帯生物圏研究センター）には多くの有益な御助言を頂いた。以上の方々には心より感謝致します。

引用文献

- Iwanaga, S. (In press) Geographic distribution: *Polypedates leucomystax* (Java whipping frog). Herpetol. Rev. 29.
- 菊川 章・戸田 守 (1998) キノボリヤモリの多良間島からの記録. Akamata. (14): 35-36.
- 饒平名里美・当山昌直・安川雄一郎・陳 賜隆・久貝勝盛・高橋 健 (1997) 宮古諸島における爬虫・両生類の分布について. 爬虫両棲類学雑誌 17(2): 84. (講演要旨)
- Okada, Y. (1927) A study on the distribution of tailless batrachians of Japan. Annot. Zool. Japon. 11:137-144.
- Okada, Y. (1931) The tailless batrachians of the Japanese Empire. Imp. Agr. Experiment Station, Tokyo. 215 p.
- Okada, Y. (1966) Fauna Japonica: Anura (Amphibia). Biogeogr. Soc. Japan. Tokyo. 234 p.
- 太田英利 (1995) 琉球列島における爬虫・両生類の移入. 沖縄島嶼研究 (13): 63-78.
- Ota, H. (In press) Introduced amphibians and reptiles of the Ryukyu Archipelago, Japan. G. H. Rodda, Y. Sawai, D. Chisgar and H. Tanaka (eds.) Problem snake managements: habu and brown tree snake examples. Cornell University Press, Ithaca, New York.
- Ota, H. and S. Iwanaga (1997) A systematic review of the snakes allied to *Amphiesma pryeri* (Boulenger)(Squamata: Colubridae) in the Ryukyu Archipelago, Japan. Zool. J. Linn. Soc. 121:339-360.
- 千石正一・疋田 努・松井正文・仲谷一宏 (編) (1996) 日本動物大百科 5巻, 両生類・爬虫類・軟骨魚類. 平凡社, 東京. 189 p.
- 諸喜田茂充 (1996) 平良市の陸水および海洋環境の保全. 沖縄国際大学南島文化研究所 (編) 平良市自然環境保全基本構想. p.161-195. 平良市.
- 高橋 健 (1996) サキシマバイカダの伊良部島からの記録. Akamata (13): 9.
- 高良鉄夫 (1962) 琉球列島における陸棲蛇類の研究. 琉球大学農家政工学部学術報告 (9):1-202.
- 高良鉄夫 (1978) 宮古島 (沖縄) 産サキシマバイカに関する若干の知見. 爬虫両棲類学雑誌 7(4):85-87.
- Takeda, N. and H. Ota (1992) A record of the tree gecko, *Hemiphyllodactylus typus typus* (Reptilia: Squamata: Gekkonidae), from Miyakojima Island of the Miyako Group, Ryukyu Archipelago. Isl. Stud. Okinawa (10):59-64.
- Takeda, N. and H. Ota (1996) Description of a new species of *Takydromus* from the Ryukyu Archipelago, Japan, and a taxonomic redefinition of *T. smaragdinus* Boulenger 1887 (Reptilia: Lacertidae). Herpetologica 52(1): 77-88.
- 当山昌直 (1976a) 宮古群島の両生爬虫類相 (I). 爬虫両棲類学雑誌 6(3):64-74.
- 当山昌直 (1976b) ミヤトカゲの生息の確認. 沖縄生物学会誌 (14):61-66.
- 当山昌直 (1981) 宮古群島の両生爬虫類. 沖生研究会誌 (14):30-39.
- 当山昌直・久貝勝盛・島尻沢一 (1980) 宮古群島の両生爬虫類に関する方言. 沖生研究会誌 (13):17-32.
- Van Denburgh, J. (1912) Concerning certain species of reptiles and amphibians from China, Japan, the Loo Choo Islands, and Formosa. Proc. California Ac. Sci. Ser. 4, 3:187-257.